



'To acknowledge the duty that accompanies every right'
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

G/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2019年3月 No.442
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2016~2017)	クラブ役員 Officers
センテニアルクラブ会長 : 『吾只足知』 国際会長 : 『私たちは変えられる』 アジア地域会長 : 『アクション!』 西日本区理事 : 『未来に残すべきものを守り育てる』 中西部部長 : 『次代につなぐ夢と希望』	会 長 : 三浦 直之 副会長 : 中村 茂高 書 記 : 大村 肇 ドライバー : 松浦 孝次 会 計 : 岡本 剛介 メネット会長 : 山中 ちあき YMCA 連絡職員 : 船戸 輝久

Biblical Message of March

「神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせるようなことはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていてくださいます」

(コリントの信徒への手紙 1 第 10 章 13 節)

交流は楽しい!

坂本 千春

2月2日土曜日、中西部チャリティーボウリングが桜橋ボウルで行われました。中西部のワイズメンズクラブのメンバーとYMCAのスタッフ、先生、IHSの生徒、表コミの生徒など多くの参加がありました。大阪センテニアルからは 三浦会長、大村ワイズ、芝田ワイズ、坂本千春の4人が参加。私にとってウン十年ぶりくらいのボウリングで、1ゲーム目は88点と散々でした。大村ワイズ、芝田ワイズはストライク、スペア連発の華麗なプレイで高得点ゲット。1ゲーム終了時点で、センテニアルチームは暫定2位でした。さて、2ゲーム目、やや疲れの出た大村ワイズに変わり、三浦ワイズがストライク、スペアを連発! 私も芝田ワイズの適切なアドバイスのおかげで125点を獲得しました。終わってみれば、4人で950点(2ゲーム)、ぶっちぎりの優勝でした。隣のレーンでプレイされていた表コミの先生ともストライクのたびに盛り上がり、センテニアルの連絡主事だった佐神さんともお会いできてYMCAの方々との良い交流の場になったと思います。ボウリングの後は中西部のことをワイワイ話しました。ボウリングは手ごろで交流するにはとっても良いと思いました。センテニアルクラブの皆さんでボウリング行きませんか?

March Club Meeting

『EF/JWF』

3月第1例会

- 日 時: 2019年3月20日(水) 18:30~20:30
 場 所: ホテルグランヴィア大阪
 司 会: 中村 隆幸 君
- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 開会 | 三浦 直之 会長 |
| 2. ワイズソング | 一同 |
| 3. 聖句朗読 | 中村 茂高 君 |
| 4. ゲスト・ビジター紹介 | 三浦 直之 会長 |
| 5. 強調月間 | 中村 隆幸 君 |
| 6. 健康体操 | 並木聡子・大阪南 YMCA 職員 |
| 7. 晩餐 | 一同 |
| 8. 卓話「SDGs と学校教育」 | 濱上達也・朝日新聞大阪本社 CSR 担当 |
| 9. 連絡・報告・ニュース | 各メンバーから |
| 10. お誕生日/ニコニコ献金 | 一同 |
| 11. 閉会 | 三浦 直之 会長 |

お誕生日: 松浦、花本の各メン、谷川、中村珠の各メネット

例会担当: 2班: 藤原、中村茂、中村隆、何、坂本、花本の各メン

3月第2例会

日 時: 2019年3月27日(水) 18:30~20:30
 場 所: 土佐堀YMCA会館4階



【クラブ統計 Statistics】

2月	種 別	第1例会	第2例会	BF ポイント	ニコニコ献金
在籍会員 18名	メ ン	11名	6名	2月	0g
例会出席 13名	メネット	2名	0名	現 金	0円
うちメーキャップ	ビジター	0名	0名	累 計	
0名	ゲ ス ト	3名	0名	切 手	204g
出席率 72.2%	合 計	16名	6名	現 金	0円
					2月 8,100円
					累 計: 184,035円
					オ-ｸﾞｼﾞ: 35,100円

【今月の聖句】

これは、水泳選手の池江璃花子さんが自身の白血病を公表した際に口にした言葉です。頂点にいた彼女を突然襲った試練はあまりにも過酷でした。しかし、彼女は自身の病と向き合う決意をします。

この聖句は、使徒パウロがローマ帝国のアカイア州の首都コリントで紛争に明け暮れる教会の信者に書き送った書簡の一つですが、多くの人たちがこの言葉にどれだけ励まされ、勇気をもらったことでしょう。

(聖句選/コメント 中村 茂高)

2月第1例会報告

と き：2019年2月20日(水) 18:30~20:30

ところ：大阪YMCA会館 403号室

まだ寒い2月の例会は、“Time of Fast”。世界中で飢餓に苦しむ人たちのために1回の食事代を献金にあてる会で、15名がお茶とお菓子で集いました。

恒例の並木聡子・大阪南Y職員による楽しい健康体操の後、ティータイムでしばし歓談。その後、大阪YMCAの小川健一郎総主事に「大阪YMCAの飛躍を目指して」と題し、①YMCAのグローバル人材の養成②国際バカロレア教育③それに取り組む水都国際中高の一貫教育についてお話いただきました。

冒頭に「将来、子どもたちがどんな生き方をするのか」と問いかけ、大阪YMCAが2001年から取り組んでいる国際バカロレア(IB)について説明。大阪Yは従来の知育偏重ではなく、教師はファシリテーターとなり、生徒自らが考え学ぶ国際教育を採択し、2019年に開校する公設民間校「水都国際中学・高校」を運営する。中高一貫で、学費が比較的安いとのこと。

また、今年5回を迎える国際会議「Global Youth Conference」を毎夏5日間、六甲山YMCAで開催し、ワークショップや文化交流などを通じて地球的課題に取り組む各国の若いグローバルリーダーを育成していることにも言及。私たちは、大阪YMCAがグローバル化やIT社会など、先行き不透明な時代に即応しながら広く人材を育てるという姿勢を学ぶことができました。

また、三浦メンがYMCA25年継続会員賞を受賞し、小川総主事から表彰状を受け取りました(写真右)。

≡ ≡ ≡ ≡ Club Activities February 2019 ≡ ≡ ≡ ≡

A limited number of 10 or so people gathered for the month of February meeting.

With its emphasis on the Time of Fast, we skipped a meal to contribute to the Time of Fast Fund of Y's Men International during this month, believing our small contribution can make a big impact in the world, as Jose Varghese, new Secretary General stressed. The MC role was played by Hideo Yamanaka.

We gathered at the Osaka YMCA to listen to what new General Secretary of the Osaka YMCA, Kenichiro Ogawa says about the new YMCA aims at. Receiving an explanation from him was indeed useful to learn which way it is headed for: setting up a new junior and senior high school sponsored by the Osaka Municipal Government and run by the Y is challenging project for the movement.

Our club President, Naoyuki Miura received an award for his dedicated 25years' membership of the Osaka Y.

Again, a short 15-minute physical exercises were conducted by Satoko Namiki, a Y staff.

We enjoyed reunion and conversation over a cup of tea and snack.

Kan Tanikawa



大阪Yの方向性を理路整然と語る頼もしい小川総主事



小川総主事から25年継続会員賞を受け取る三浦メン

谷川 寛

テニスの全豪オープン女子シングルス決勝で、大坂なおみ選手が初優勝。昨年の全米オープンに続き、2大会を連続で制覇。日本にとって初めてのことで、日本中が大いに沸きました。私もかつてテニスをやっていたので、大いに興奮しました。

彼女の名前の“なおみ”は、日本にもよくある名前でおそらく日本人の母親が名付けたのでしょう。この“Naomi”という名前ですが、欧米でもよくある名前です。ただ、発音はどちらかというと“ネオミ”に近い発音をしており、この名前は旧約聖書に由来しています。

旧約聖書に“ルツ記”という物語があります。ナオミという姑とルツ(英語では Ruth)という嫁が主人公です。土師の時代にユダヤのベツレヘムで飢饉がありました。ナオミとその家族は、食を求めてモアブ(外国)へ移住しましたが、夫と二人の息子は、不幸にも、その地で亡くなり、息子の二人の嫁(モアブの女性)が残りしました。失意のナオミは、母国に帰ることを決意。二人の嫁、ルツとオルパに言いました。「あなたがたは、それぞれ自分の母の家に帰りなさい。あなたがたは、亡くなった二人の息子と私に大変親切してくれました。どうぞ主の恵みが豊にありますように。」年老いた姑のナオミは、まだ若い二人に、祖国での再婚を勧めます。オルパは、やむなく去りますが、ルツは、ナオミと一緒に姑の故郷のエルサレムに帰ることを望みました。この嫁と姑の二人は、仲がよく、心通う関係でした。二人がたどり着いた故郷では、ちょうど大麦刈りが始まっていました。早速、外国人のルツは、母を助けて落穂拾いに出かけます。落穂拾いは肩身の狭い仕事です。

他人の畑で取りこぼした麦の穂を拾い、それをもらって帰り自分たちの命の糧とします。ルツは、このようにして老いたナオミに異国でも尽くしました。貧しいながら、精一杯生きた、しなやかで、たくましい女性の物語です。下の絵は、どなたもご存じのミレーの有名な「落穂拾い」の絵です。



有名な画家ミレーの「落穂拾い」

2月第2例会報告

と き : 2月27日(水) 18:30~20:00

ところ : 大阪 YMCA 会館4F

出席者 : 大村、岡本、芝田、中村茂、船戸、三浦

〈クラブ活動〉

- ・ファミリーコンサートの準備 なかのしまクラブと共催
5/11(土) 10:30 開場、11:00 開演、13:00 終演。
大阪 YMCA 会館 2 階ホール。英語幼稚園 30 名参加。
3/25 付ファミリーニュース社記事掲載。
- ・上田キッチン 子ども食堂支援の件 食材費 1 万円拠出。3/18 17:30、西船場会館で開催。

〈ワイズ活動〉

- ・EMC につなげる会 Part II 3/17(日)14:00~16:00
大阪 YMCA 会館 703 教室
- ・西日本区大会 6/22(土)~23(日) 大会、宿泊は各自で申し込む。又アヌ・モーリスと IBC 交流予定。
- ・アジア太平洋地域大会 7/19(金)~21(日)
仙台国際センター 大会、ホテルとも各自 WEB で申し込む。ただホテルは団体行動がとりやすいようにアパホテル仙台駅北を推奨する。2/1~6/30 登録

(第2例会議事録より抜粋)

YMCA ニュース

☆第311回早天祈祷会☆

日時…2019年3月15日(金) 7:30~8:30

証し…藤岡 宏樹さん(大阪 YMCA 英語幼稚園園長)

場所…大阪 YMCA 会館 10 階チャペル

☆YMCA 総合研究所主催『YLab』開催☆

今、科学技術の進展は生命の科学、AI の進展に伴い激変の時を迎えています。その変化は産業革命のインパクト以上の変化を私たちにもたらすといわれます。

170 年前、産業革命の激変する社会の只中に生まれた YMCA は今回の激変にどう対応すればよいのでしょうか?世界の科学技術進展の現状を専門家から発表頂き、YMCA は何をしていくべきか、その存在意義とあり方、展望と課題について共に考え、共に学ぶ機会とします。

対象は YMCA 教職員、ボランティア等となっておりますが、関心のある方はどなたでもご参加可能です。定員がございますので、お早めにお申込みください。

テーマ:「AI と人間と YMCA —society 5.0 の社会で—」

日時: 2019年3月16日(土) 13:00~15:00

場所: 大阪 YMCA 会館 302 号室

定員: 40 名程度

講師: 神原誠之氏(奈良先端科学技術大学院大学准教授)

対馬淑亮氏(国立研究開発法人情報通信研究機構 研究員)

コーディネーター: 鍛治田千文(大阪 YMCA)

お申し込み: YMCA 総合研究所 担当: 島原
shimahara-yuzuki@osakaymca.org

船戸 輝久



ニコニコ・メッセージ



【Messages from the Club Members】

《会員、メネットからのメッセージ》

○小川総主事をお迎えしての TOF 例会、大阪 YMCA のこれからについてのお話を聞きたい機会になりました。

(大村 肇)

○小川総主事様、大阪 YMCA が考えられているグローバル人材を育成しながら、日々グローバルの視点で考える事が出来る生徒さんに力を注いでおられることに感銘しました。

(芝田 光雄)

○小川総主事の話、大変刺激となり、大阪 YMCA の向かう方向も示していると思われ参考になりました。

(谷川 寛)

○4 月末からマンダレーの Hito Center へ行きます。12 月まで日本語を教えてください。Y's 活動が十分にできなくて申し訳ありません。

(中村 隆幸)

○小川総主事のお話で、大阪 YMCA が混沌とした社会状況の中で、正しい舵取りをしていらっしゃることを確信しました

(中村 茂高)

○子供の教育について、もう一度考えさせられました。海外のことを知ることが大事だと改めて感じました。

(何 早林)

○小川総主事のスピーチを聞くのは初めてで、興味をもって拝聴した。東京→北九州→大阪と転勤の経歴をおもちで、広い見識につながることで推察します。“Global Youth Conference”の紹介がありましたが、素晴らしいプログラムと思いますね。

(松浦 孝次)

○“YMCA25 年継続会員賞”ありがとうございます。小川総主事のお話して変化しつづけることの意義、実現していく力の源を考えさせられました。

(三浦 直之)

○小川総主事の講話興味があり、大変有益でした。IB も知識、暗記中心の教育でなく、英米並みに囲碁、チェスをカリキュラムも入れて考える教育が必要ではないか。

(山中 秀男)

○久しぶりの Y's の会、皆様の笑顔で迎えていただき、心暖まるひとときでした。

(山中ちあき)

中西部・メネットアワー報告

三浦 直之

中西部メネットアワーが 2019 年 2 月 9 日(土) 11:30~14:00、大阪木材仲買会館で約 50 名の参加のもと開催されました。谷部長の開会宣言の後、坂本千春・中西部メネット主査、遠藤通寛・西日本区メネット事業主任、谷正一・中西部部長の挨拶がありました。

次にメインテーマの NPO 法人 西淀川子どもセンター代表理事・西川奈央様の講演をお聴きいただきました。西淀川区御幣島を活動の拠点として子供の支援の活動を熱心にされています。活動内容は晩御飯と一緒に作って食べたりお話をする食育、絵本の貸し出し紙芝居や学びなおしや芸術を通して出会いと体験により生き抜く力をつけさせる、地域での子供と大人との良い関係を模索するなどです。現在 日本では子供の 7 人の内 1 人が貧困であるというあまり知られていない現実に向き合い真剣に取り組まれています。このことを知り、何か私たちも支援することができればと切実に感じました。

講演の後、皆で軽食をいただき有意義な時を過ごしました。中村メネットからスコーンの差し入れがありました。ありがとうございました。

センテニアルからの出席者は 3 名のメネットを含んで 9 名でした。大変ご苦勞様でした。



力強い言葉で、支援を呼びかける坂本千春・メネット事業



西淀川子どもセンターの若きエース・西川奈央代表

後 記

南米のアンデス地方に「ハチドリのみずく」という話があるそうです。森が燃え、動物たちが我先に逃げ中、ハチドリだけがその小さなくちばしに水をふくみ火を消そうとしました。「そんなものでどうなるのか」とあざ笑う動物たちをよそに、「今、私にできることをしている」と答えるハチドリ。

混沌とした先行き不透明な世の中に、私たちにできることは何でしょうか。

Shige

